

資料18-1 「なにわエコ会議」の活動内容(令和4年度)

(1)主催事業

事業名称	開催日	場所	実施主体	備考
エコアクション21スクール	6月8日、7月13日、8月10日、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日、1月12日	オンライン開催	環境に配慮した企業部会	共催：エコアクション21地域事務局大阪・中央事務局 協力：大阪市、大阪市環境経営推進協議会
食べ残しNOゲーム出前講座	9月6日、9月12日、10月5日・7日、10月18日、11月1日、11月26日	大阪市立豊崎本庄小学校、大阪市立鶴町小学校、大阪市立大開小学校ほか	エコライフ部会、環境教育・啓発部会	共催：大阪環境カウンセラー協会
環境ふれあいひろばin中央	11月26日	J:COM中央区民センターホール	全体	共催：環境局、中央区地域女性団体協議会 協力：中央区役所、大阪ガス㈱、シニア自然大学校、大阪環境カウンセラー協会、大阪市環境経営推進協議会、㈱コクミン
エコライフセミナー(プラスチックごみと野鳥の関係～ごみを拾って、野鳥と自然を守ろう～)	11月6日	野鳥園臨港緑地(南港野鳥園)ほか	エコライフ部会、生物多様性部会	共催：環境局、UNEP/IETC

(2)その他出展イベント

事業名称	開催日	場所	実施主体	備考
ECO緑日2022	11月12日	花博記念公園鶴見緑地内	環境教育・啓発部会	主催：環境局
ごみ減量フェスティバル	11月3日	大阪城公園太陽の広場	全体	主催：環境局 協力：廃棄物減量等推進員

(3)その他の取組み

事業名称	実施日	場所	実施主体	備考
図書館での水生生物標本展示・講演会	7月22日～8月17日、8月19日～9月14日、10月21日～11月7日	城東図書館、旭図書館、淀川図書館	生物多様性部会	
漁業体験会	8月28日	淀川河口	生物多様性部会	主催：なにわエコ会議、大阪市漁協株式会社
大阪エコバッグ運動推進キャンペーン	3月11日	KOHYO阪急三国店	エコライフ部会、環境教育・啓発部会	
なにわエコ会議賞	(表彰式)11月26日	J:COM中央区民センターホール	全体	環境ふれあいひろばin中央
2022年度 CO2削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペ	(表彰式)3月22日	おおさかATCグリーンエコプラザ	環境に配慮した企業部会	協力：環境局、大阪市環境経営推進協議会

資料18-2 大阪市環境表彰 受賞者(令和4年度)

区分	受賞者名	受賞理由・活動内容
個人	田中 靖之 氏	大阪市教育委員会事務局の理科特別授業である「食品ロスを考える」への参加、「夏休みの自由研究 おおさか環境科」のプログラム監修、環境イベント「環境ふれあいひろば」での活動等、環境教育を中心に活躍されています。 また、「障がい者・高齢者の環境教室」の取組みにおける各種イベントでは、障がい者の社会参加の補助をしながら、ブースを展開し、障がい者の社会貢献の場を提供する等、15年もの長い期間環境保全の啓発に尽力されています。
団体 及び 事業者	株式会社 日阪製作所	産業機械製造の分野で環境配慮型製品の開発を進めるとともに、社員全員に環境意識を芽生えさせ、環境活動に取り組むため、基準やルールを定めて可視化し、計画的に取り組まれています。 環境活動の後には、その活動の評価として環境レポートの作成やCSR大会プログラム等を実施しており、単年の取組みではなくPDCAサイクル型の継続した取組みとして実施しておられます。 また、今後は古紙回収を全社で取り組み、得た資金の一部を養護施設に寄付することや熱交換機製造過程で生産されるチタンの廃材を利用したコースター制作作業の一部を障がい者作業所に依頼することを検討するなど、障がい者の雇用の促進や、働きがいづくりにも取り組んでおられます。
	社会医療法人 警和会大阪警察 病院	平成21年1月に職員で「エコ隊」を結成し、温室効果ガス排出量削減へ向けた啓発や病院設備の運転効率化など、無駄のないエネルギー利用の取組みを進めておられます。 また、繁忙期における電力、ガスの利用抑制に積極的に取り組まれており、病院熱源管理において、自動制御だけに頼らず常時監視員と現場の職員が密接に連携して不要なエリアの運転停止や温度設定管理を行うなど、医療環境のなかでも限界までエネルギーロスのない運転管理を行い、自分たちで考え行動するエコ活動に取り組まれています。 さらに、ポスターや院内新聞による啓発活動など環境負荷減に向けた意識改革や勉強会にも取り組んでおられます。
学校園	大阪市立茨田小学校	平成10年から5年生を対象に地域の農家の方のご協力のもと「米づくり」の体験学習に取り組まれています。 また、レンコンの収穫の様子を見学し、農家の方の苦労や思いに触れることで、作り手の思いを学んでいます。児童が自ら育て収穫した米や、苦労して作られたレンコンを食することは、児童が日々の家庭生活の中での食生活を見つめ直すことにもつながっています。 また、開校時から25年間、「すくすくの森」と呼ばれるビオトープにくらす生き物の様子や木々の変化を観察することにより自然の豊かさを学ぶ取組みも続けておられます。 このように、小学校、地域等が協働し、地域の実情等を踏まえ積極的、継続的に環境学習に取り組まれています。